2013年10月30日

各 位

オリックス株式会社
（コード番号：8591）

2014年3月期 第2四半期連結決算（4月～9月）
当期純利益は前年同期比34%増の804億円、4期連続増益
～当期純利益の通期目標を1,450億円へ上方修正～

2014年3月期第2四半期（2013年4月1日～2013年9月30日）の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比21%増の6,141億円、税引前当期純利益は同41%増の1,236億円、当期純利益は同34%増の804億円と、前年同期と比較して4期連続で増益となりました。

なお、当期純利益は、期初の通期連結業績目標1,350億円に対して当第2四半期でおよそ60%の進捗となったため、通期の連結業績目標を1,450億円へ上方修正しました。

■ 通期の連結業績目標の修正について

	当期純利益（※1）
前回発表連結業績目標（A）	1,350億円
今回修正連結業績目標（B）	1,450億円
増減額（B-A）	100億円
増減率	7%
（参考）前期実績（2013年3月期）	1,119億円
今回修正目標／前期実績（増減率）	30%

■ 主な経営指標の推移

	2012.4-9	2013.4-9	増減率
営業収益	5,085億円	6,141億円	21%
税引前当期純利益	874億円	1,236億円	41%
当期純利益　（※1）	598億円	804億円	34%

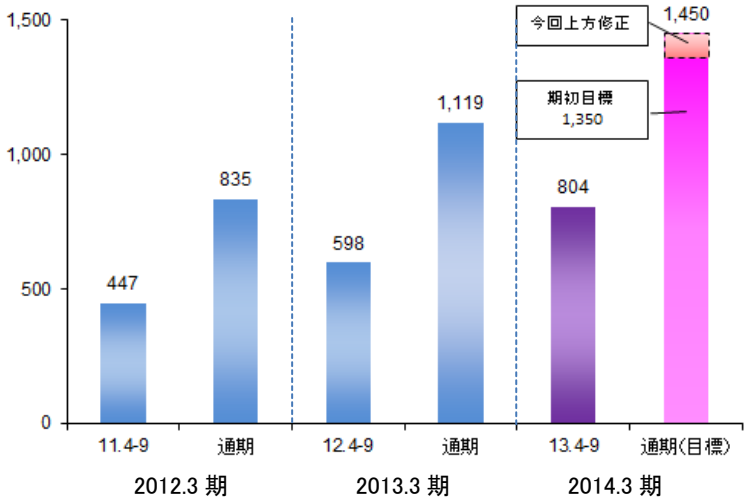
	2013.3	2013.9	増減率
総資産	84,397億円	84,300億円	▲0%
セグメント資産（※2）	63,827億円	67,488億円	6%
株主資本　（※3）	16,436億円	17,596億円	7%
株主資本比率	19.5%	20.9%	－

（※1･3）「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

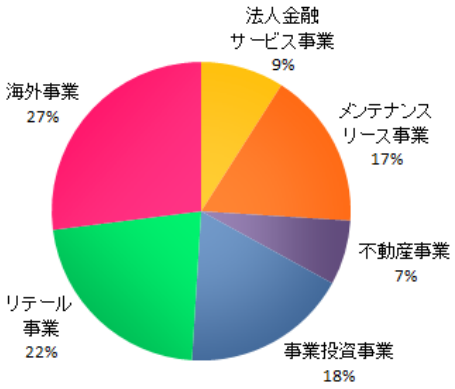
（※2）「セグメント資産」は、当第2四半期より、企業統合に伴う営業権・その他の無形資産を含めて計上しています。この変更により、過年度についても組替再表示しています。

『当期純利益の推移』

（単位：億円）



『当第２四半期のセグメント利益内訳』



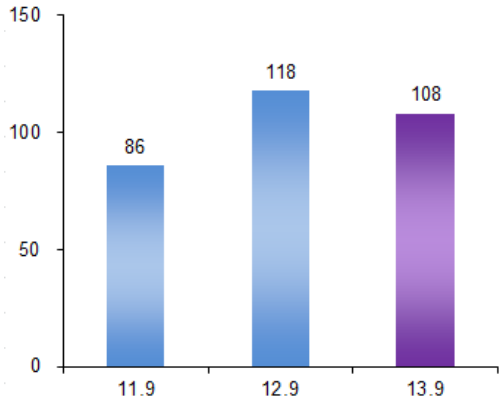
■ 各セグメントの業績概要（2013 年 4 月 1 日～2013 年 9 月 30 日）

当第 2 四半期累計期間では、ロベコの連結子会化もあり、「海外事業部門」が業績を牽引しました。また、「事業投資事業部門」「不動産事業部門」において、前年同期に比べて利益が大きく増加するとともに、「リテール事業部門」「メンテナンスリース事業部門」も好調に推移しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

＜第２四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

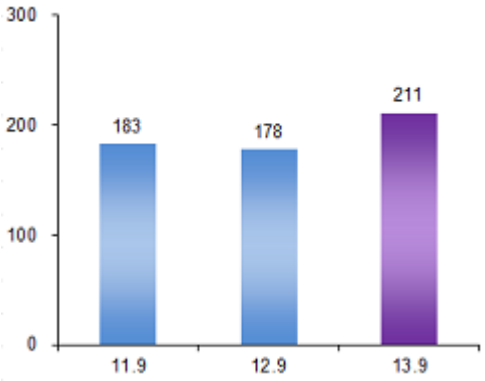


- ファイナンス・リース収益は、国内の需要回復を受け新規実行高が増加し、堅調に推移。
- 営業貸付金は、新規実行高が増加したものの残高は減少し、貸付金収益が減少。
- セグメント利益は、前年同期比 8%減の 108 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

＜第２四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

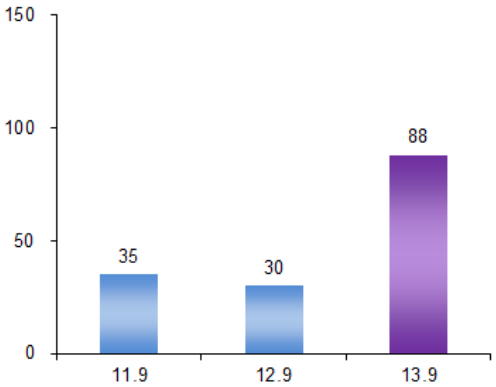


- 資産管理やコスト削減などの企業ニーズに対応した高付加価値サービスを提供し、収益は引き続き高水準で安定推移。
- 新規実行高が増加し、オペレーティング・リース資産残高ならびにオペレーティング・リース収益が好調に伸長。
- セグメント利益は、前年同期比 19%増の 211 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

＜第２四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

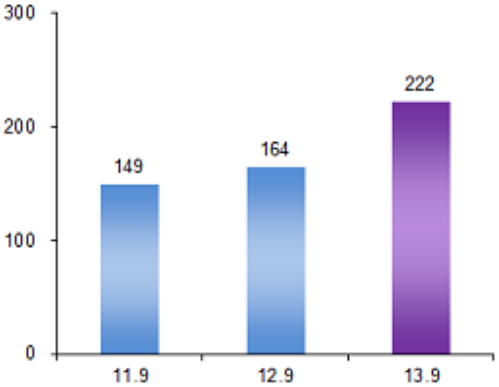


- 施設運営事業からの収益が堅調に推移。
- 資産管理事業の手数料収入や不動産開発事業の売却益が増加。
- セグメント利益は、前年同期比約 3 倍の 88 億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー関連、サービサー（債権回収）、プリンシパル・インベストメント

＜第２四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

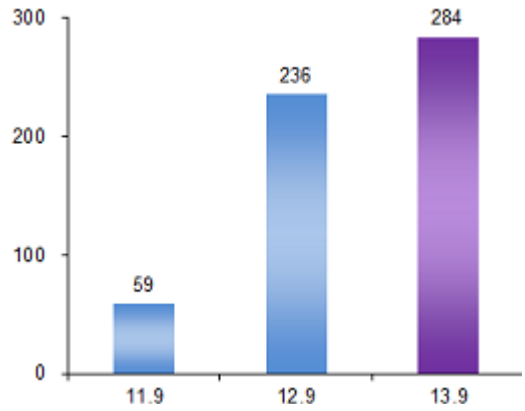


- サービサー事業の回収益が堅調に推移。
- 新規投資先の増加に伴う収益が伸長するとともに、株式市場等の回復により、株式売却益が増加。
- セグメント利益は、前年同期比 35%増の 222 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

＜第２四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）

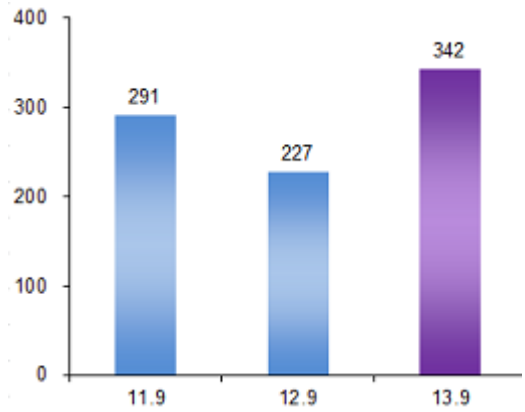


- 生命保険事業は、保有契約数が増加し運用収益も好調に伸長。
- オリックス･クレジットの連結子会社化、および住宅ローン残高が増加したことに伴い、貸付金収益が堅調に推移。
- セグメント利益は、前年同期比 20%増の 284 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

＜第２四半期累計セグメント利益＞（単位：億円）



- ロベコの連結子会社化、およびアメリカの手数料ビジネスが安定収益に貢献。
- アジアのリース収益や航空機のオペレーティング・リース収益が好調に伸長。
- セグメント利益は、前年同期比 51%増の 342 億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。
URL ： http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/

以　上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
グループ広報部　堀井・石井　TEL：03-3435-3167